

表3-2-8 類型別 悩みや心配ごと

	合計	勉強や進学の こと	就職や仕事の こと	家族や家庭の こと	友人や恋人の こと	お金の こと	生自 き分 の方 の性 格や こと	健康 や病 気の こと	容姿 の こと	その他	と悩 みや 心配 ごと はない	わ か ら な い
類型計	1,585 100.0	49 3.1	659 41.6	217 13.7	289 18.2	440 27.8	423 26.7	253 16.0	115 7.3	10 0.6	363 22.9	50 3.2
「求職型」無業者	67 100.0	1 1.5	47 70.1	8 11.9	10 14.9	34 50.7	19 28.4	8 11.9	6 9.0	1 1.5	7 10.4	0 0.0
「非求職型」無業者	58 100.0	10 17.2	27 46.6	12 20.7	4 6.9	17 29.3	19 32.8	16 27.6	5 8.6	0 0.0	8 13.8	2 3.4
「非希望型」無業者	32 100.0	7 21.9	8 25.0	5 15.6	2 6.3	6 18.8	6 18.8	8 25.0	3 9.4	0 0.0	9 28.1	4 12.5
正社員・正職員	871 100.0	13 1.5	317 36.4	108 12.4	181 20.8	202 23.2	213 24.5	125 14.4	61 7.0	4 0.5	239 27.4	28 3.2
非正規社員	557 100.0	18 3.2	260 46.7	84 15.1	92 16.5	181 32.5	166 29.8	96 17.2	40 7.2	5 0.9	100 18.0	16 2.9

(5) 「非希望型」の約3割は結婚するつもりがない

各類型の結婚希望（青少年Q59）を見ると、「非希望型」無業者以外の5類型では「今はしたくないが、いずれはしたい」が最も多くいずれも過半数を占めている。一方「非希望型」無業者では、「結婚するつもりはない」が28.1%、「わからない」が21.9%と他の類型とは異なる傾向が見られた。

第3節 無業者とその親

本節では、まず青少年調査の回答から各類型の両親の状況と親に対する印象を確認する。さらに、青少年調査と親調査をマッチングし、両親ともにいる青少年について、青少年の類型別に親調査の回答から親の基本属性、小学生の頃の育て方、子に対する考えを見ることにする。

1 親の状況と親に対する印象

ここでは、青少年調査の回答から両親が健在かどうか、父や母の印象を見た。

(1) 「非求職型」「非希望型」は父離死別が多い

各類型の両親の状況（青少年Q5）を見ると、5類型ともに「両親ともいる」割合が7割を超えていた。なお、「非求職型」及び「非希望型」無業者ではその割合が他の類型よりも低く、「非求職型」は父離別が、「非希望型」は父死別が他の類型よりも多くなっていた（表3-2-9）。